

令和5年度 家庭教育支援プログラム指導者研修⑤ 実施報告

実施日：令和5年8月18日（金）

5月から始まった「家庭教育支援プログラム指導者研修」が、全5回の日程を終了しました。最終回は、2回目となるファシリテーター演習を行いました。

【午前の研修】

○ グループワーク

「家庭教育支援プログラムファシリテーター演習②」

第4回の親学習プログラムをファシリテートしたグループごとに、指定された「思春期版家庭教育支援プログラム」の再構成を行いました。各グループとも、最初のファシリテーター演習を通して得た気づきを生かしつつ、思春期版プログラムのねらいに迫るためにどのようなファシリテートをすればよいかについて、具体的・効率的に検討を進めました。その様子からは、共通の目的に向けて協力し、高め合う「チーム」としての雰囲気が感じられました。

総合教育センター職員



【午後の研修】

○ グループワーク

「家庭教育支援プログラムファシリテーター演習②」

総合教育センター職員

本日の午前中に再構成した「思春期版家庭教育支援プログラム」のファシリテーター演習を行いました。各グループは、前回行った演習での成果や気づきを、プログラムに盛り込んでいました。具体的には、掲示資料をアレンジし、ファシリテーターが活動の方法等について説明する時間を短縮して、参加者が話し合う時間をできるだけ確保しようとする工夫や、参加者が話しやすい雰囲気を作るための言葉かけを意識したり、BGMを取り入れたりする工夫を行っていました。

受講者は、2回のファシリテーター演習を通して、「家庭教育支援プログラム」の再構成について学びを深めたり、ファシリテーターとしての知識や技術を高めたりすることができました。



☆受講者の声（アンケートから）

- ・ファシリテートを実践することで新しい気づきや学びがありました。これからも経験を積んで上達したいと思います。
- ・意見が出るまで待つことや考える時間を大切にしていけることを学びました。これからの実践に生かしていきたいと思います。
- ・実際にプログラムを再構成しファシリテートの体験をすることで、ファシリテーターの難しさと楽しさを学ぶことができました。
- ・子育てに悩みを抱える親が、前を向いていけるよう手助けしていきたいと思います。
- ・この研修を受講して、ぜひ多くの方に家庭教育支援プログラムを体験してほしいと思いました。

研修内容の詳細に関するお問い合わせは栃木県総合教育センター生涯学習部まで
TEL:028-665-7206 e-mail:skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp